

新たな機能性表示食品の開発 —「べにふうき緑茶ティーバッグ」—

技術の特徴

2015年4月から施行された機能性表示制度に則って、べにふうき緑茶の抗アレルギー作用の機能性研究（作用機序の解明、ヒト介入試験による効果実証(図1)、機能性成分変動解明)を活用した機能性表示食品（ヘルスクレーム：本品には、メチル化カテキン（エピガロカテキン-3-O-(3-O-メチル)ガレート）が含まれています。メチル化カテキンは、ハウスダストやほこりなどによる目や鼻の不快感を軽減することが報告されています；図2）をJAがごしま茶業と開発した。

研究の内容

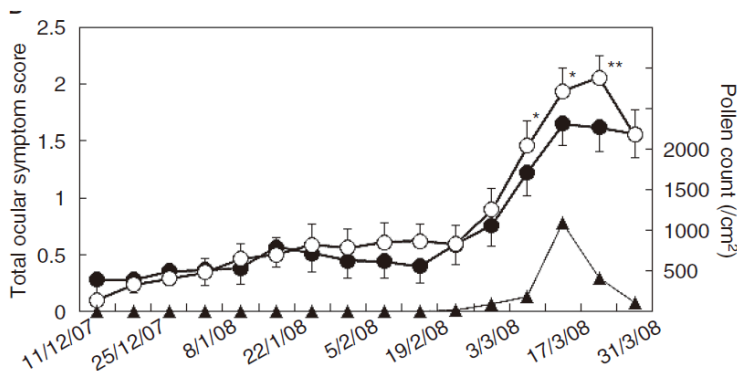


図1. べにふうき緑茶の花粉症状（目症状）軽減効果

○はやぶきた緑茶（メチル化カテキン0mg/日）飲用、●はべにふうき緑茶（メチル化カテキン41mg/日）飲用、▲は花粉飛散量を示す。*； $p < 0.05$ vs べにふうき。*； $p < 0.01$ vs べにふうき。



図2. 機能性表示 べにふうき緑茶ティーバッグ

今後の展開

様々な茶産地での「べにふうき」緑茶の機能性表示および一般的な緑茶の機能性表示をめざし、各茶産地と連携をはかる。

参 考

- S. Masuda et al. (2014) *Allergology International*, 63(2): 211-217.
- M. Maeda-Yamamoto. et al. (2004) *J. Immunology*. 172(7):4486-4492.
- M. Maeda-Yamamoto et al. (2004) *Food Science and Technology Research*, 10(2), 186-190.
- M. Maeda-Yamamoto et al. (2012) *J. Agric Food Chem*, 60(9):2165-2170.
- 山本万里ら「抗アレルギー剤」特許第3637355号(2005年1月21日)



農研機構
食品総合研究所
野菜茶業研究所



代表研究者： 山本（前田）万里
所 属： 食品機能研究領域
（前野菜茶業研究所）
問合わせ先： 029-838-8011 marimy@affrc.go.jp